

1953（昭和28）年 静岡県清水市折戸（現 静岡市清水区）生まれ

【略歴】 都立墨田川高校、東京教育大学（現 筑波大学）農学部林学科卒業、東京大学大学院農学系研究科林学専門課程（修士課程）修了、(株) ブレック研究所、コンピューターサービス(株) を経て1980年(株) ラック計画研究所入社、1988年より同社代表取締役、2008年同社定年退職。2009年度東海大学文学部教授、2010年度より東海大学観光学部教授、2018年3月同学部定年退職、2019年度同学部非常勤講師。現在に至る。

【資格】 ●昭和51(1976)年6月25日 測量士補 / ●昭和63(1988)年4月22日 技術士（建設部門：都市及び地方計画）

【受賞】 ●昭和61年日本公園緑地協会創立50周年記念論文 優秀賞(1986.5)：「公園緑地に望まれる景観設計」

●平成3年度日本造園学会賞（調査計画部門）(1992.5)：「景観計画手法の開発」

●2006年都市環境デザイン会議 JUDI 賞[発表部門]（2006.7）：「山梨県甲州市勝沼町における景観まちづくり」

## ■主な業績

### 【雑誌執筆・論説】

●特集「景観を観る」、月刊観光、1980.7月号（共著）

●林地開発と景観保全、しんりんほぜん第17号（森林保全研究会報）1982.9

●公園緑地に望まれる景観設計、公園緑地、1987.3

●観光地を快適にするためのデザインコントロール、観光施設166号、1988.4

●自然の肌触りと風景の心地よさ、グリーン・エージ318号、2000.6

●風景の認識と評価—農の風景から都市の魅力へ、人と国土、2005.3

●山梨県甲州市勝沼町における景観まちづくり：都市環境デザイン会議全国大会にて発表：2006.7（金沢）

●これからの国立公園利用の方向について、国立公園 No.654：2007.6

### 【学術論文】

●景観の分析・表示の手法に関する一研究、昭和51年度日本造園学会春期大会講演集、1976.5

●景観におけるテクスチュアに関する研究、造園雑誌44(2)、1980.10

●街路景観のまとまりに及ぼす沿道建物の効果に関する計量心理学的研究、土木学会論文集No.353/IV-2、1985.1（共著）

●「景観特集（共著）」：景観年表、造園雑誌50(2)、1986.12

●「特集 リゾート空間再考（共著）」：景観調和とリゾート空間、造園雑誌54(4)、1991.3

●景観計画設計手法の体系化、造園雑誌56(2)、1992.10

●計量心理学的解析手法による商業・業務系建築物前面の景観評価に関する研究、ランドスケープ研究 58(5)、1995.3（共著）

●農村地域における景観法の運用について：都市計画 No.253、2005.2、日本都市計画学会

●景観評価におけるアフォーダンス理論の有用性に関する考察、ランドスケープ研究 72(5)、2009.3

[http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jilaonline/2/0/\\_contents/-char/ja/](http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jilaonline/2/0/_contents/-char/ja/)

●景観ツーリズムの新潮流と地域活性化、地域デザイン学会誌 No.6、2015.9

### 【東海大学紀要観光学部】

●調査報告：映写写真から判断される「水辺への近づきやすさ」に関する考察、紀要観光学部 第1号、2011.3

●観光学実習（グリーンツーリズム in 阿蘇）報告、紀要観光学部 第3号、2013.3

●観光学実習（グリーンツーリズム in 阿蘇 2012）報告、紀要観光学部 第4号、2014.3

●東海大学観光学部による丹沢湘南地域における広域観光連携の取組 ～丹沢湘南観光連携会議と丹沢湘南観光交流フォーラム～、紀要観光学部 第5号、2015.3

●平塚市内観光バスツアーの企画実施の取組とその教育効果 —平塚市民大学交流事業、紀要観光学部 第6号、2016.3

●論文：景観がもたらす歓迎印象に関する研究、紀要観光学部 第9号、2019.3（予定：掲載準備中）

### 【著書】

●「風景づくりの手びき（共著）」、1983.3〔日本観光協会〕

●景観をデザインする—景観デザインの対象と仮想行動のための景観デザイン：「山河計画シリーズ3号 “景”（共著）」所載：1985.5〔思考社〕

●「道路景観整備マニュアル〔案〕（共著）」：事例編（建設省道路局企画課道路環境対策室監修）1988.11〔大成出版社〕

●景観計画：「公園開発・整備実務計画資料集（共著）」所載：1989.12〔総合ユニコム〕

●観光地の環境整備：「新時代の観光戦略（共著）」所載：1994.1〔日本観光協会〕

●「田園景観のデザインガイド（共著）」：1995.11〔景観デザイン研究会〕

●「平成9年度群馬県中山間地域企画政策塾報告書（講演録）」：“景観保全の考え方”、“景観の計画と景観デザインの着眼点”：1998.3

●「田園景観の成り立ちと景観デザイン指針（共著）」：1998.8〔景観デザイン研究会〕

●景観評価とシミュレーション：日本造園学会編「ランドスケープ大系 第3巻“ランドスケープデザイン”（共著）」所載：1998.11〔技報堂出版〕

●「田園景観の目標像（共著）」：2000.8〔景観デザイン研究会〕

●「農村集落の景観デザイン（共著）」：2002.8〔景観デザイン研究会〕

●「魅せる農村景観—デザイン手法と観光活用へのヒント（共著）」：2004.3〔ぎょうせい〕

●「田園景観の魅力発掘・認知・保全のためのキーワード（共著）」：2004.8〔景観デザイン研究会〕

●「田園景観に関する研究」（LSCD活動の軌跡1993-2005 共著）：2005.6〔景観デザイン研究会〕

●「日本の街を美しくする—法制度・技術・職能を問いなおす（共著）」：2006.2〔学芸出版社〕

●「5.2 景観分析の基礎」『改訂七版 農業農村工学ハンドブック 基礎編（共著）』：2010.8〔（社）農業農村工学会〕

【講演・その他】 ●地域連携活動による各種成果、丹沢湘南観光連携会議・フォーラム、トコラボプロジェクトなど、省略。





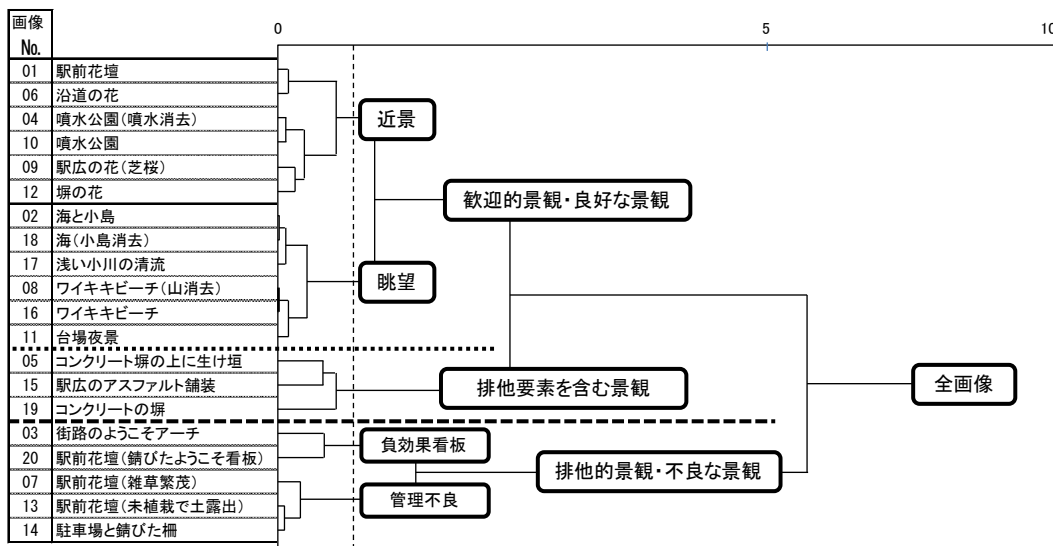
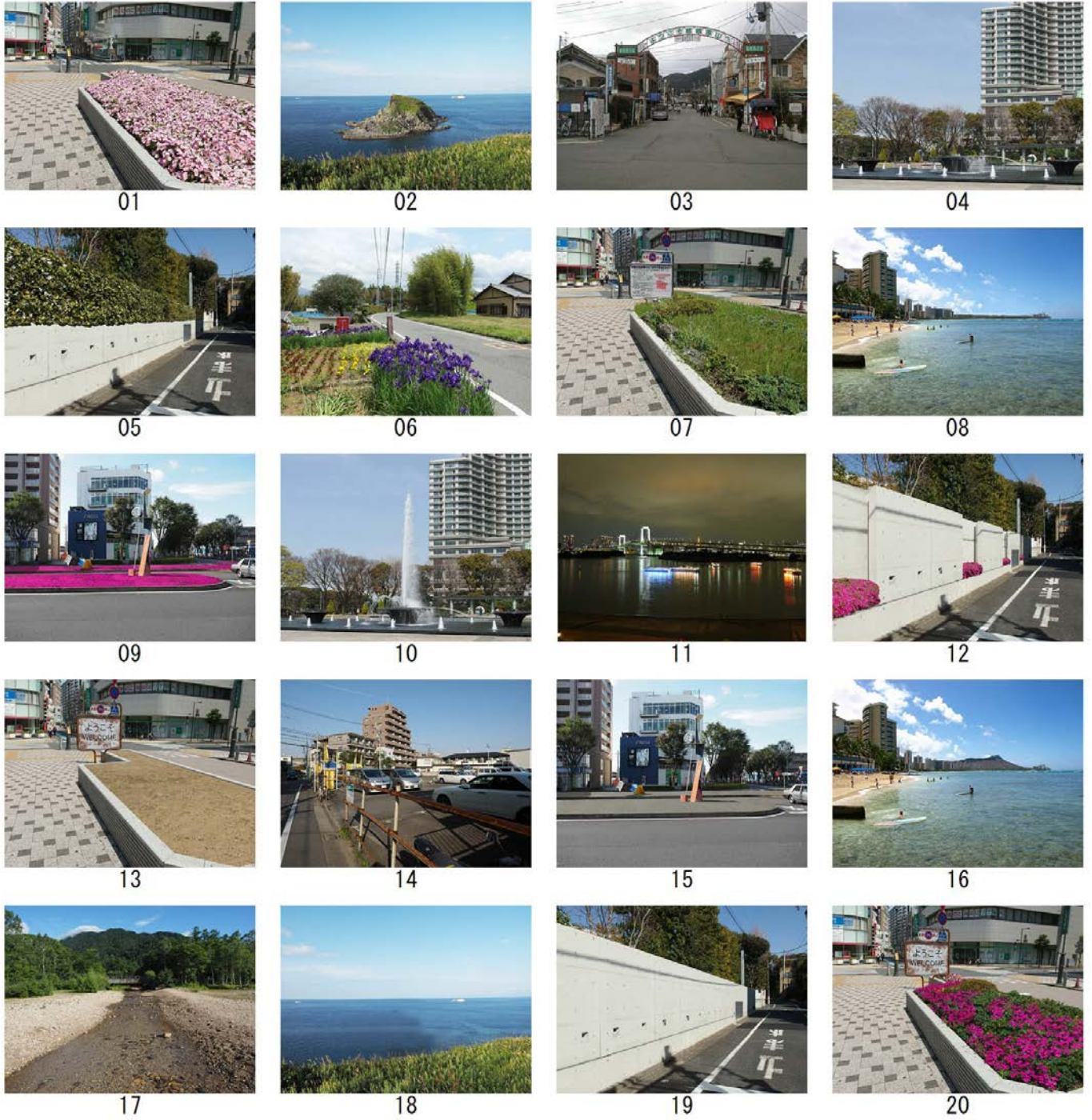


図3 24項目の評価結果に基づく20シーンのクラスター分析結果

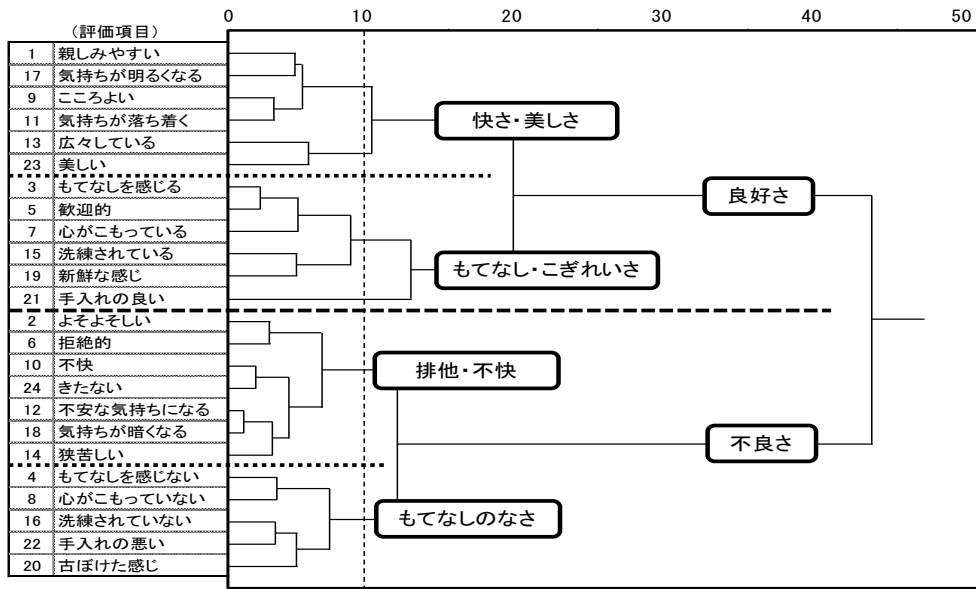


図4 20シーンの評価結果に基づく24評価項目のクラスター分析結果

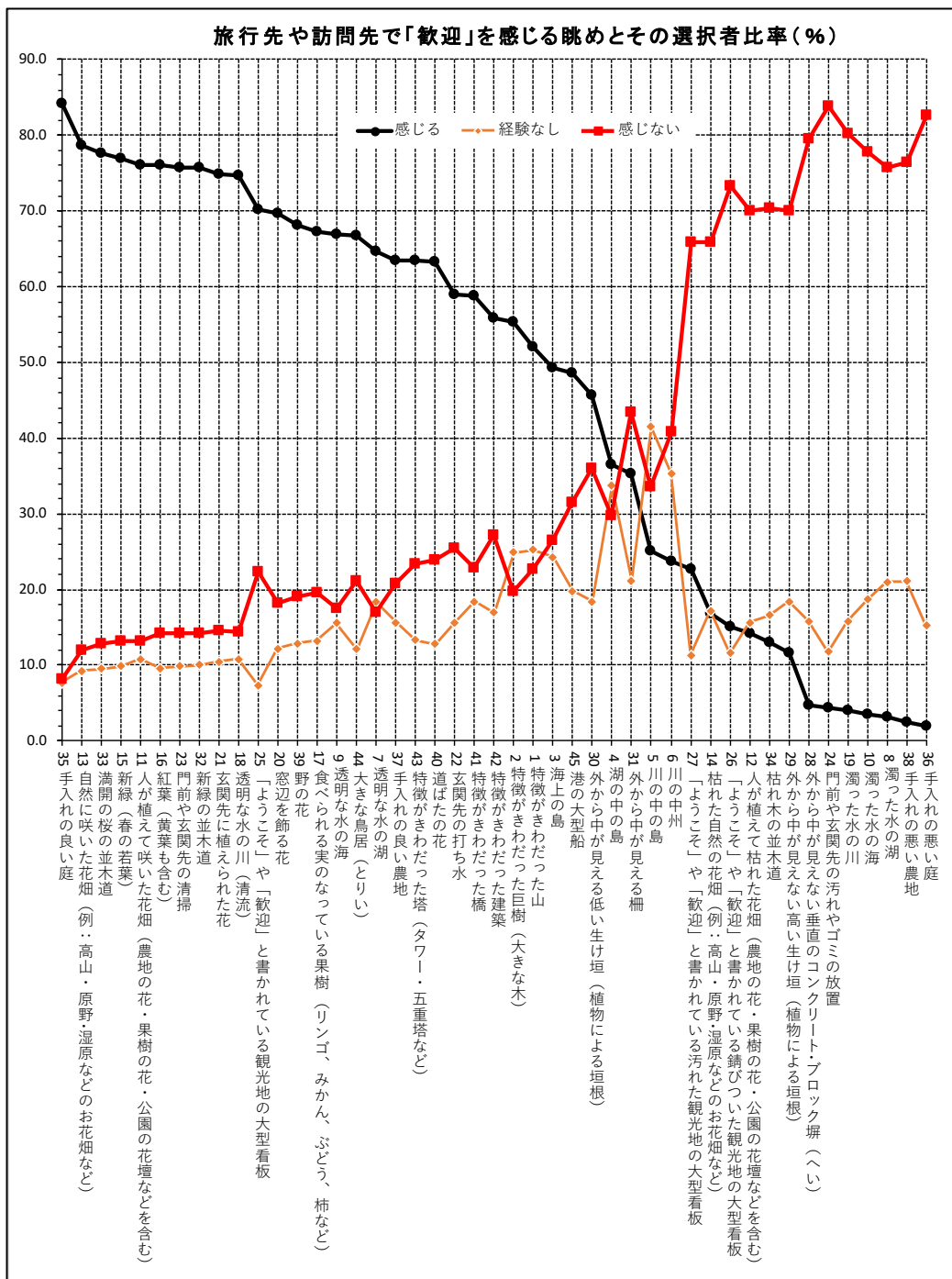


図5 歓迎を「感じる」・「経験なし」・「感じない」と回答した人の割合(%)